

# スマイル通信

第12号 平成21年1月19日発行

発行元:特定非営利活動法人スマイルネットワークさかい

理事長:田崎 健治

住所:〒919-0541 福井県坂井市坂井町東 24-22

Tel:0776-72-2282 Email:koryuctr@mx3.fctv.ne.jp

## あたりまえのところで ～原点回帰～

昨年4月より指定管理者としてスタートした当法人も設立から3回目の正月を過ごすことができました。

当初から多くの皆様方からのご支援を賜わりまして、心より感謝申し上げます。

平成21年度より新たに日中一時支援事業となり、障がい児学童保育も登録者数20名以上となり、毎日15名以上の利用者の受入れとなります。

「あたりまえのところで」を念頭に、常に原点に戻りスタッフ一同自己研鑽しながら、子ども達といっしょに楽しみながら頑張ってお参りたいと思っております。

障がいをもつ子ども達が学齢期を過ぎてから、生涯生活するであろう生まれ育った地域であたりまえに暮らせるような施設建設に向けて今年、そして来年が大きな節目になろうと思います。

利用者にとっと寄り添いながらずっと支援を続けていけるよう、保護者、学校、行政、施設そして地域がうまく連携していくことがますます重要になってくるだろうと考えられます。

今後とも多くの方々によりよい信頼関係が築けるよう最大限努力して参りたいと思っております。更なる発展のために、ご協力とご指導頂きますようお願い致します。



専務理事 黒坂 輝雄

## 第1回保護者研修会の報告

12月17日(日)大関公民会の研修室をお借りし、当法人としてはじめての保護者研修会を行いました。

テーマ「今、家庭でできること・すべきこと」に基づき、講師に富田純子先生をお招きし、療育相談員、保育カウンセラー、スクールカウンセラーの視点から障がいをもつお子さんと関わる上でのお話をいただきました。質疑応答の時間が足りず、保護者の方はその後の懇親会でも、熱心に意見交換されていました。

また、「障がい児はいつか障がい者になる」センターの利用者が今後迎える青年期に向け、黒坂専務から事例報告を行いました。学齢期の今の段階から、学校卒業後の子ども達の居場所を視野に入れ、どんな支援が必要になるのか、保護者としてどんな心構えが必要なのか、どんな行動を起こしていくべきなのかを話し合い、これからの保護者の視点の在り方を明確にしていきました。

### ●●●研修会に参加して●●●



ちょうどうちの子の年齢など、問題点が重なることが多く聞いてよかった。「9歳の壁」「～らしさ」など自分一人では到底思いつかないキーワードを教えてもらった。日常生活でなかなか実践するのは難しいが、頭のすみっこにあるのとないのとは違うと思う。母親の影響が大きいと再確認できほっとした。常に「これでいいのかわ」と不安に思っている私には少し安心感を与えてもらった。ほかの保護者の方がどんな不安をいただいているのか意見を聞いて参考になった。もっというろんな意見が聞けるとよかった。

夫婦で聞くことができたらもっとよかった。

湯川さんのお母さんより



～ボランティアの声～

## 「クリスマス会を企画してみ

子ども達と一緒にクリスマス会の行事ができてすごく楽しかったです。サンタクロースが来るのをすごく楽しみにしていた顔を見て、私までサンタが来ることを楽しみに待ちました。

季節ごとにいろんな行事をやって、子ども達にいつもと違う興味や関心をもってもらえたらな、と思っています。

アイビー医療福祉専門学校  
太田 早紀



な～にをかこうかな♪



ツリー完成！



レッツ、ダンス！



サンタさん登場！クリスマスカードとお菓子をもらったよ。

スクラム組んでまえていける体制づくりを目指します

去年12月センターを利用している坪田康平君が通う金津小学校の担任の先生より、地域との連携をねらいとした保護者、学校、事業所との懇談会の提案をいただき、学校で情報交換会を行いました。

先生が作成された個別の支援計画に基づく学校での康平君の様子を聞きながら、家庭での様子との違い、センターでの様子との違い、思春期を迎えた心身の変化の現れ方など共通認識をもつことができました。

また支援方針の共通理解を持ち、支援方法にばらつきがあったところを家庭でも学校でもセンターでも、同じように環境を整えることを話し合うことができました。康平君にとって、成長の通過点を支える関係機関が連携を持つことは、よりよい支援の模索につながり、康平君らしさの発揮を促す

ことに繋がると考えます。

この取り組みは当センターにとって、目指す方向への第1歩でした。保護者、学校、事業所、行政、そして地域が利用者を取り囲んでスクラムを組んでいける体制作りこそ、利用者の当たり前の暮らしの実現に繋がると考えます。

●●●坪田くんのお母さんより●●●

学校とセンターとの連携は親にとっても心強いものです。いろいろな情報交換ができてとても貴重な時間でした。家では気付かなかった成長の様子や、きめ細やかな支援の工夫をして下さっていることを知ることができて、本当にうれしく思いました。

### 今後の予定

- 1月29日(木) 手作りおやつ
- 30日(金) 法人理事会
- 31日(土) 保護者役員会
- 2月20日(金) 第2回保護者会研修会
- 時間:午後7時～9時
- 場所:スマイルネットワークさかい
- ※日中一時支援事業についての説明も行います
- 3月中旬～ 利用契約書の取りかわし

### 編集後記

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくおねがいします。

年賀状が届くのを待つのはいくつになっても楽しみです。配達されてくるのを窓から眺めて待ちました。なかなか会えない人から届く近況報告を兼ねた年賀状を眺め、癖のある文字を見て元気にやってるんだなあと、思いをはせるお正月でした。

(智)